

# 富士山を世界文化遺産に！



『富士三十六景「凱風快晴」』（葛飾 北斎 作）〈所蔵 山梨県立博物館〉

## News List

- ◎富士山は日本の「文化的景観」の象徴  
(静岡県学術委員会 委員長 川勝平太)
- ◎富士山の価値を証明する構成資産候補一覧  
(学術委員会より)
- ◎「富士山」と「泰山」(中国)が友好山に!!
- ◎世界遺産用語解説「顕著な普遍的価値」

## 平成20年は「富士山」に関する ヤマ場のはじまり!!

昨年「富士山」は「世界文化遺産候補」となり、また、今後検討していくべき構成資産候補が決まるなど、登録に向け大きく動き出しました。

平成20年は構成資産候補の研究をさらに進め、可能なものについては、万全な保護措置を構築する作業などに本格的に着手することになります。まさに「ヤマ場」のはじまりなのです。

# 富士山は日本の「文化的景観」の象徴

昨年、富士山が、高い文化性、深い精神性をもつ「文化的景観」とみなされて、世界文化遺産の暫定リストに登録されました。このことは、遅きに失したと思いません。ともあれ、富士山が位置する静岡県・山梨県のみならず、日本にとっても、まことに喜ばしいニュースです。

「遅きに失した」といいました。それと、いうのも、まず、世界遺産条約（正式名称は「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」）は、一九七二年のユネスコ総会で採択されたのですが、日本の加盟が、それから二十年も経った一九九二年だったことです。環境庁（当時）や文化庁など関係省庁には、地球環境問題や世界遺産をめぐる情勢の変化について認識不足がありました。無理からぬところもあり、当時の日本社会は高度成長の夢を追い続けており、メイド・イン・ジャパンの製品が国際市場を席卷し、国



静岡県学術委員会 委員長 川勝 平太  
(静岡文化芸術大学 学長)

民はバブル経済に浮かれて経済大国としての自意識が過剰で、自然環境や文化に思いをいたす余裕がなかったように思います。

「遅きに失した」もう一つの理由があります。それは日本の加盟した九二年、ユネスコの世界遺産委員会では重大な決定がなされていたことに気づくのが遅れたことです。その決定とは精神性をはらんだ自然の風景を「文化的景観」という概念でとらえ文化遺産にできることにしたことです。「文化的景観」はさっそく翌九三年、ニュージーランド先住民マオリ族の聖山「霊峰トンガリロ」に最初に適用されました。霊峰トンガリロはすでに「自然遺産」として登録されていました。それを「文化遺産」に追加登録したので、トンガリロ（ナウルホ工山）の形状は富士山とそっくりです。それを知っていれば、関係者はまず日本の象徴である富士山を、トンガリロに勝る「文化的景観」の最たる例として、世界文化遺産に登録するように働きかけるべきでした。

世界遺産には自然遺産と文化遺産があります。九二年当時（今も）、日本の役所では、自然遺産は環境庁担当、文化遺産は文化庁担当という縦割りです。「文化的景観」という概念を知らないまま、環境庁は自然遺産として白神山と屋久島を、文化庁は文化遺産として法隆寺と姫路城

とを推薦し、それらは九三年に登録されました。

それを受けて静岡県内では、霊峰富士山が白神山や屋久島に勝るとも劣らない自然遺産になりうるという思いで、富士山の自然遺産への登録がめざされました。しかし、それはボタンのかけ違いであり、指導官庁の環境庁だけでなく、何より文化庁の認識不足でした。「文化的景観」の概念を知った文化庁が法改正し「文化的景観財」を導入したのは、それから十二年も経ってからです。「紀伊山地の霊場と参詣道」が紀伊山地の「文化的景観」によって世界文化遺産になった年から見ており、当初は「紀伊山地の霊場と参詣道と、その周囲の文化的景観」として登録をすすめました。それは、例えば熊野三山のひとつ那智大社のご神体は滝ですが、文化庁は大社を文化財、滝を大社の周囲の文化的景観だととらえて、そう表現したのです。しかし、文化的景観の核心是那智の滝であり、大社のご神体の存在を示す標識（立派ではあります）でしかないのです。それは数々の浅間神社が、神社の建物ではなく、ご神体が富士山であることによって信仰をあつめているのと同じです。

二十一世紀の世界にとって、「日本の自然」のもつ文化的意味を、改めて吟味しなければなりません。日本語で「山水」といえば、自然の風景のことです。日本

では庭のことをかつて「山水」とよんでいました。それは日本の庭づくりの基本が自然の風景をとりこむことだったからです。それはヨーロッパの庭づくりと対照的です。ヴェルサイユ宮殿が典型的ですが、幾何学的、左右対称、人工的です。日本でも築山（つきやま）や池を配しますから、細部まで手は入っているのですが、自然を感じさせるように最大限の工夫をします。日本の「山水庭園」の手本は日本の自然そのものです。そのような自然の風景としても日本人の尊崇を集め、その美しさが文化をはぐくみ、国のシンボルとして自他ともに認められているのが富士山です。富士山という存在は、精神性をはらんでおり、まさに「文化的景観」なのです。

日本の山岳信仰は縄文時代までさかのぼれるようですが、明確な姿をとったのは奈良時代です。以来、千年以上にわたって、富士山は日本人の山岳信仰のシンボルであり、詩歌・絵画など芸術文化の源泉になってきました。しかも、北の利尻富士から南の薩摩富士まで、富士の名を負う霊峰は少なくとも三五〇はあります。それは全国の山々が富士のような、精神性をもつ美しい景観に憧れてきたことを意味します。それはまた、山国日本が精神性を宿す文化的景観を志向してきたことを示しています。富士山が文化遺産になることは、日本列島各地の美しい地域づくりを励ますバイオニアの役割をもつのです。

## 【構成資産候補一覧】

◎静岡・山梨両県共通資産

富士山、お鉢巡り、御中道

◎静岡県側の構成資産候補

要素	名称	所在地
溶岩関係	万野風穴	富士宮市
	駒門風穴	御殿場市
	印野の熔岩隧道	
	鮎壺の滝	沼津市・長泉町
	五竜の滝	裾野市
湧水	白糸ノ滝	富士宮市
	湧玉池	
	楽寿園〈小浜池〉	三島市
	柿田川	清水町
自然崇拜	千居遺跡	富士宮市
	大鹿窪遺跡	芝川町
浅間信仰	富士山本宮浅間大社境内地	富士宮市
	山宮浅間神社	
	山頂信仰遺跡	特別名勝指定地内
	富士山本宮奥宮	
修験道	村山浅間神社	富士宮市
	村山浅間神社境内水垢離場	
	大宮・村山口登山道	富士宮市・富士市
富士講	人穴富士講遺跡	富士宮市
	人穴浅間神社	
	須山浅間神社	裾野市
	富士浅間神社	小山町
	須走口登山道	
展望地	三保松原	静岡市
	日本平	

富士山の価値を証明する資産について、県学術委員会及び二県学術委員会で審議が行われ、静岡・山梨両県共通3件、静岡県側25件、山梨県側36件の構成資産候補が承認されました。（それぞれその構成資産候補の概要については、今後のニュースレターで紹介していく予定です。）

## 構成資産候補の紹介



印野の熔岩隧道



白糸ノ滝



富士山本宮浅間大社



富士浅間神社



人穴富士講遺跡



三保松原

# 「富士山」と「泰山」が 友好山に!!

平成19年11月12日、「富士山」と世界遺産「泰山」〔自然遺産、文化遺産（中国）〕が友好山提携（日本富士山協会と山東省泰安市）を結びました。

これは、中国の温家宝首相が日本の国会で『貴国には「風吹けども、山は動かず」ということわざがあります。中日両国関係の発展は、風雨や紆余曲折をたどってきましたが、中日両国人民の友好の土台は、泰山と富士山のように決して動揺することはありません』と演説された（平成19年4月12日）のがきっかけとなりました。

この提携を機に、泰山・富士山両山地域の自然、文化、歴史、産業など様々な分野における交流と協力を図っていくこととしています。

山頂へ続く険しい石段(泰山中路「十八盤」)



## 泰山

中国山東省の中心部にある泰安市の北部に聳えている。

中国の五大名山の筆頭にあげられ、標高は1,545メートル、道教の聖地である。

1987年、世界遺産に登録された（自然遺産、文化遺産同時登録）。

なお、「泰山が安らかであれば、天下は安らかになる」と言われることから「泰安市」と呼ばれるようになったとのこと。数多くの文人墨客が登っており、孔子は、「登泰山而小天下」（泰山に登ると天下はなんと小さいことか）という言葉を残したと伝えられる。



泰山山頂付近からの眺め



泰安市政府訪問団が来静(右:林華勇泰安市政府副市長 左:川口静岡県副知事)

## 【日本富士山協会とは】

富士山の恵みを広く国内外に情報発信し、世界に開かれた賑わいと交流、そして新たな文化の創造を図ることを目的に設立（平成13年4月16日）された協会。75の民間企業、観光協会、行政などが会員となっている。（平成19年7月2日現在）



ウルル・カタ・ジュタ国立公園【写真：ウルル（エアーズ・ロック）】

オーストラリアの先住民アボリジニーの聖地。

1987年に世界自然遺産に、1994年に世界文化遺産に登録された。

## ◎世界遺産用語解説

### 「顕著な普遍的価値」

世界遺産として「ふさわしい価値」のことを、世界遺産条約では「顕著な普遍的価値」と表現しています。

その価値とは「人類共通の財産として、世界中の人々が協力しあって、守っていく必要があると、誰もが認めるもの」のことです。

## 富士山世界文化遺産登録 啓発ポスター（第2弾）完成!!

今回のポスターは浮世絵を題材にして、富士山の文化的価値の一端をアピールしています。使用した作品は次の2点です。

さんかはく  
富嶽三十六景『山下白雨』（葛飾北斎作）

するがさつみね  
不二三十六景『駿河薩岳嶺』（歌川広重作）

県内の図書館・博物館、道の駅やJRの主要駅などに掲示予定ですので、ぜひご覧ください。

